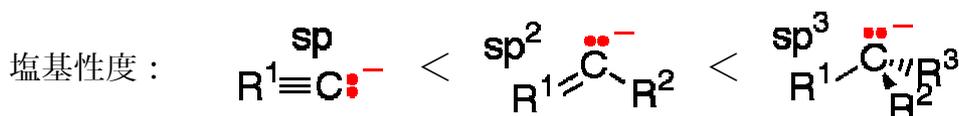
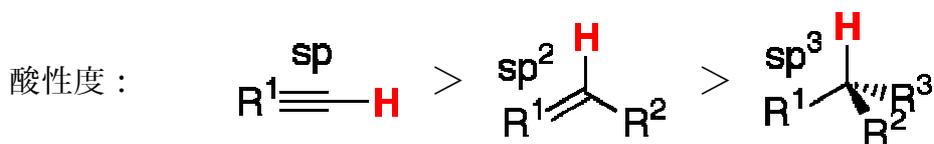


カルボアニオン (carbaion) 塩基性について (補足)

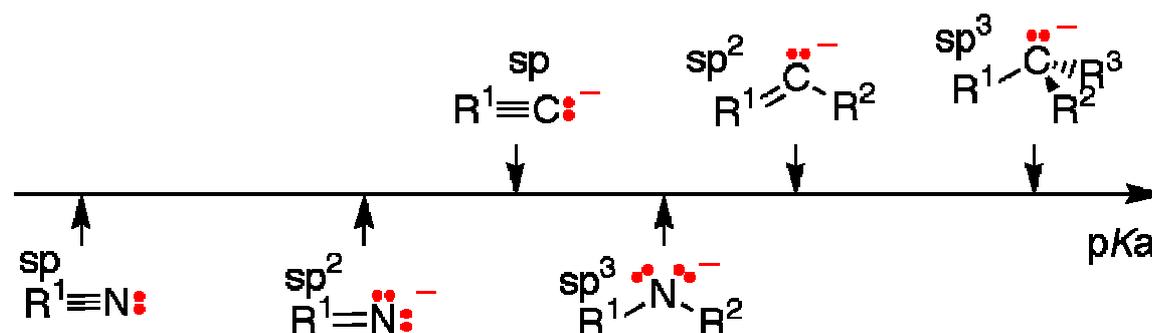
原則 1 : 軌道の混成状態があがるにつれて ($sp \rightarrow sp^2 \rightarrow sp^3$)、 $C-H$ のプロトンの酸性度が落ちる (=脱プロトン化された状態 (カルボアニオン) の塩基性度があがる)。



原則 2 : アニオンの塩基性は電気陰性度が増すに従って減少する。ただし混成状態が同じであることが必要条件。



炭素と窒素の塩基性の序列



アニオン中心に結合した置換基によって塩基性が若干変化するが、上記の序列が逆転することはない。

白金-炭素触媒 (Pt/C) について

活性炭に金属の白金 (目で見えない位の細かな粒) を析出させたもの。従って、水素化反応の触媒として白金触媒あるいは金属触媒と書いただけでは不正解。必ず Pt/C と書く。